

## 調査ご協力をお願い

日頃から、鹿児島市政に対しまして深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

本市では、男女が対等なパートナーとして、お互いにその人権を尊重しあい、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざし、「鹿児島市男女共同参画計画」（平成 14 年度～23 年度）を策定し、様々な取組を進めています。

今回、市民の皆様のお考えや生活の実情などを調査させていただき、今後の男女共同参画の施策に活かしてまいりたいと考えております。

この調査は、市内にお住まいの 20 歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた 3,000 人の方をお願いしております。調査の結果は全て統計的に処理いたしますので、ご回答くださったことでご迷惑をおかけすることは一切ございません。

ご多忙のところ恐れ入れますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成 22 年 9 月

鹿児島市長 森 博幸

— <ご記入にあたって> —

### <注意事項>

- 調査票は無記名でご回答ください。調査の結果はすべて統計的に処理し、個々の内容を公表するものではございません。ご回答くださった方にご迷惑をおかけすることはございませんので、お考えや実情をありのままにお答えください。
- 調査票をお送りいたしましたご本人がお答えください。
- 回答については、特別に指定がない場合、それぞれの質問項目ごとに該当する番号に○印をつけてください。また、お答えが「その他」に該当する場合は、その番号に○印をつけ、（ ）の中になるべく具体的にご記入ください。
- ご記入後、お手数ですが三つ折にして、同封の返信用封筒（切手不要）にて、**9月24日（金）まで**にご返送ください。

※この調査票の内容についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

鹿児島市 市民局市民部 男女共同参画推進課

電 話：099-813-0852

FAX：099-813-0937

## 《男女平等意識についておたずねします》

問1. 男性と女性は憲法上では平等となっていますが、次にあげる①～⑦の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

※各項目ごと横に見てお答えください (○印はそれぞれ1つずつ)	平等 になっている	不平等な 点がある	どちらとも いえない	わから ない
①家庭で	1	2	3	4
②職場で	1	2	3	4
③学校(学校教育)の中で	1	2	3	4
④地域社会の中で	1	2	3	4
⑤政治の場で	1	2	3	4
⑥法律や制度の上で	1	2	3	4
⑦社会通念や慣習、しきたりの中で	1	2	3	4

問2. 社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○印は1つ)

1. 男性の方が非常に優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が非常に優遇されている
6. わからない

問3. 問1、問2で不平等だと感じる、どちらかの性が優遇されていると答えた方におたずねします。主な原因はどこにあると思いますか。(○印は3つまで)

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1. 男女の役割に対する考え方 | 7. 男性の理解不足 |
| 2. 身体的・生理的な差    | 8. 法律や制度   |
| 3. 女性に対する偏見     | 9. その他     |
| 4. 男性に対する偏見     | (具体的に： )   |
| 5. 社会的な慣行・しきたり  | 10. わからない  |
| 6. 女性の理解不足      |            |

問4. 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、どのようなことが重要であると思いますか。(○印は3つまで)

1. 法律や制度面の見直し
2. 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念やしきたり、慣習の見直し
3. 男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念やしきたり、慣習の見直し
4. 女性の経済力の向上
5. 女性自身の自覚と知識・能力の向上
6. 女性の政治・職場・社会活動への積極的な参画
7. 企業や政府などの重要な役職への女性の登用
8. 家庭・学校での男女平等教育の充実
9. 職場内での男女平等処遇の徹底
10. 男性の理解・協力
11. 女性の就業、社会参画を支援する施設やサービスの充実
12. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
13. わからない

### 《家庭生活についておたずねします》

問5. 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○印は1つ)

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

問6. 問5で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。

その理由は何ですか。(○印はいくつでも)

1. 男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから
2. 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから
3. 子どもの頃からそうした教育をされているから
4. 女性は仕事を持ってても不利な条件に置かれるから
5. 男女の役割をはっきりと分ける方が仕事も家庭もうまくいくから
6. 社会全体にそうした風潮があるから
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問7. 日常生活における役割分担についておたずねします

(1)①～⑧について、あなたの理想とする分担をお答えください。

※各項目ごと横に見てお答えください (○印はそれぞれ1つずつ)	女性が主	男性が主	男女同程度	その他の人	わからない
①生活費を得ること	1	2	3	4	5
②炊事、掃除、洗濯などの家事	1	2	3	4	5
③育児や子どものしつけ	1	2	3	4	5
④子どもの教育方針や進学目標の決定	1	2	3	4	5
⑤PTA への参加	1	2	3	4	5
⑥家族の介護	1	2	3	4	5
⑦近所づきあい	1	2	3	4	5
⑧町内会や自治会などへの参加	1	2	3	4	5

(2)結婚している方、結婚してはいるがパートナーと暮らしている方におたずねします。

①～⑧について、実際にあなたの家庭では主にだれが分担していますか。

※各項目ごと横に見てお答えください (○印はそれぞれ1つずつ)	女性が主	男性が主	男女同程度	その他の人	誰もしていない	わからない
①生活費を得ること	1	2	3	4	5	6
②炊事、掃除、洗濯などの家事	1	2	3	4	5	6
③育児や子どものしつけ	1	2	3	4	5	6
④子どもの教育方針や進学目標の決定	1	2	3	4	5	6
⑤PTA への参加	1	2	3	4	5	6
⑥家族の介護	1	2	3	4	5	6
⑦近所づきあい	1	2	3	4	5	6
⑧町内会や自治会などへの参加	1	2	3	4	5	6

問8. 男性が家事、育児などをする事についてどう思いますか。(○印は1つ)

1. 男性も積極的にする方がよい 2. 男性もできるだけする方がよい 3. 男性はあまりしない方がよい 4. 男性はやるべきでない 5. その他(具体的に： )
---

問9. 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についておたずねします。

(1)あなたの希望に最も近いものはどれですか。（○印は1つ）

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

(2)それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。（○印は1つ）

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

問 10. 今後、男女がともに家事や子育て、介護、地域活動に積極的に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○印はいくつでも）

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
4. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についての評価を高めること
5. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を充実すること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
7. 夫婦や家族でのコミュニケーションをはかること
8. 子どもに対して、家事などを男女で分担するようなしつけや育て方を行なうこと
9. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行なうこと
10. 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
11. 特に必要ない
12. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
13. わからない

## 《社会活動・地域活動への参加・参画についておたずねします》

問 11. あなたは現在、次のような活動に参加していますか。(○印はいくつでも)

1. 町内会・自治会の活動
2. 団体活動（女性団体や老人クラブ等）
3. PTA 役員や子ども会などの青少年育成活動
4. レクリエーションや趣味、スポーツなどのサークル活動
5. 市民講座、教養講座などの講座受講
6. ボランティア活動
7. 消費者活動、住民活動
8. 政治活動、労働運動
9. 職場や学校のグループ活動
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
11. 特にない

問 12. 特に、女性が社会活動・地域活動に参画していく上ではどのようなことが必要だと思いますか。  
(○印は3つまで)

1. 女性も積極的に役職に登用する
2. 女性が発言しやすい雰囲気づくりをする
3. 男女が共に参画し、協力し合える活動内容にする
4. 活動するための施設等を整備する
5. 女性の地域活動に対する家族や周囲の理解を促進する
6. 接待や後片付け等を女性の役割としない
7. 女性リーダーを育成する
8. 活動する上で必要な情報を提供する
9. 資金的な援助を行う
10. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
11. 特に必要ない
12. わからない

## 《結婚についておたずねします》

問 13. 結婚についてのあなたの考えに近いものはどれですか。(○印は1つ)

1. 人は当然結婚すべきである
2. 経済的に独立し生活できるのであれば結婚しなくてもよい
3. 結婚する、しないは個人の自由であるからどちらでもよい
4. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問 14. 現在の法律では、夫または妻のどちらかの姓を選び、夫婦は同じ姓を名乗るようになっていますが、「夫婦は同じ姓を名乗る」か「別々の姓を名乗る」かを選択できるようにすることについてどう思いますか。(○印は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. そうすべきだと思う | 3. どちらともいえない |
| 2. そうは思わない   | 4. わからない     |

## 《家庭での高齢者介護についておたずねします》

問 15. 現在、家庭での高齢者介護は、多くの場合女性が担っていますが、これについてどう思いますか。(○印は1つ)

1. 当然だと思う
2. 現状ではやむをえない
3. 夫や息子など男性も分担すべきである
4. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
5. わからない

問 16. 高齢者介護について今後どのようなことが必要だと思えますか。(○印は3つまで)

1. 介護施設の増設・充実
2. 男性の介護参加
3. 介護休暇制度の普及
4. 介護サービスを利用することへの周囲の意識改革や理解
5. デイサービスやショートステイ(施設への短期入所)などの在宅介護を支援する行政サービスの充実
6. 介護保険制度の充実
7. 介護用品の改良
8. 地域でのネットワーク作り
9. 介護予防策の充実
10. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
11. わからない

## 《就労についておたずねします》

問17. 女性の仕事についてのあなたの考えをおたずねします。あなたが女性の場合はあなた自身について、男性の場合はあなたのパートナー（いない場合はいると仮定して）についてお答えください。

	① 自分の理想	② 現実
1. 仕事は定年まで続ける	1	1
2. 子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事を続ける	2	2
3. 子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続ける	3	3
4. 子どもができれば仕事はやめる	4	4
5. 結婚したら仕事はやめる	5	5
6. 仕事はもたない	6	6
7. わからない	7	7

※各項目ごと  
縦に見てお答え  
ください  
(○印はそれぞれ  
ひとつ)

問18. 問17の「②現実」で、2～6を選んだ方におたずねします。その理由は何ですか。

(○印はいくつでも)

1. 家事・育児に専念したい（したかった）から
2. 保育施設等が充実していない（いなかった）から
3. 夫や家族の理解が得られない（得られなかった）から
4. 職場の慣行や雰囲気です仕事を続けることはできない（できなかった）から
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問19. 働いている方（パートタイマー、派遣、アルバイトをしている学生も含む）におたずねします。あなたの職場で現在次のような男女格差がありますか。該当するものに○をつけてください。

(○印はいくつでも)

1. 同期に同年齢で入社した男女で賃金昇給の差がある
2. 社内研修や教育訓練・出張や視察などの機会に差がある
3. 定年の年齢に男女差がある（慣行を含む）
4. 女性は昇進・昇給が遅い、または望めない
5. 女性が結婚や出産を機に退職する慣習がある
6. 女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある
7. 女性は補助的な仕事に従事する傾向がある
8. お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 特に男女格差はない



問 20. 社会全体として女性が働きやすい状況にあると思いますか。(○印は1つ)

1. 働きやすい	3. あまり働きやすいとはいえない	5. わからない
2. ある程度働きやすい	4. 働きにくい	

問 21. 問 20 で「あまり働きやすいとはいえない」「働きにくい」と答えた方におたずねします。

そう思う理由は何ですか。(○印は3つまで)

1. 女性が働きやすい労働条件・環境が整っていない
2. 能力発揮の場が少ない
3. 働く場が限られている
4. 育児施設・サービスが十分でない
5. 昇進・教育訓練などで男女に差がある
6. 結婚・出産退職の慣行がある
7. 男性は仕事、女性は家庭という社会通念がある
8. 家族の理解、協力が得にくい
9. 職場や職場の周りの人々の協力が得られにくい
10. セクシュアル・ハラスメントの被害にあうことがある
11. その他(具体的に: )

## 《教育についておたずねします》

問 22. 子どもの育て方についての考えをおたずねします。(○印は1つ)

1. 男の子だから、女の子だからということを重視して育てた方がよい
2. 性別にかかわらず子どもの個性を重視して育てる方がよい
3. どちらともいえない
4. その他(具体的に: )

問 23. 男女共同参画社会を実現するために、学校教育の場でどのようなことが大切だと思いますか。

(○印は3つまで)

1. 心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する
2. 互いのよさを理解し、異性を思いやる心を育てる教育を充実する
3. 性別にかかわらず生徒個人の希望や能力にもとづいて、進路指導や職業教育を行う
4. 学校生活で性別により固定化された役割分担をなくす
5. 教職員の男女共同参画意識を高める研修を充実する
6. PTA などを通じて、男女共同参画意識を高めるための啓発活動を充実する
7. 学校のクラス名簿に男女別名簿ではなく男女混合名簿の導入を推進する
8. 女性の校長や教頭を増やす
9. 今のままでよい
10. その他(具体的に: )

## 《女性の政策参画についておたずねします》

問 24. 次の①～④の各分野でその方針や政策を決めるとき、女性の意見はどの程度反映されていると思いますか。

※各項目ごと横に見てお答えください (○印はそれぞれ1つずつ)	十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない	どちらともいえない	わかりません
①職場で	1	2	3	4	5	6
②地域社会で	1	2	3	4	5	6
③市政・県政の場で	1	2	3	4	5	6
④国政の場で	1	2	3	4	5	6

問 25. 現在わが国の、政策や方針決定過程への女性の参画状況は先進国の中で特に低くなっています。政策の企画や方針決定の過程に、女性が進出していない理由は何だと思えますか。(○印はいくつでも)

1. 家庭・地域・職場における固定的な性別役割分担、性差別意識
2. 男性優位の組織運営
3. 女性の能力開発の機会が不十分
4. 女性の活動を支援するネットワークの不足
5. 女性が積極的でない
6. 家族の支援・協力がいない
7. その他(具体的に： )
8. わからない

問 26. 女性の意見を政治や行政に十分反映させるためには、どのようなことが最も効果があると思えますか。(○印は2つまで)

1. 女性議員が多くなること
2. 官公庁での管理職や審議会等の委員など公職に就く女性が増えること
3. 一般の女性の自主的な活動が盛んになること
4. 女性の意見や考え方を聞く機会を増やし、行政もその意見を取り上げるよう努力すること
5. 女性の能力開発の機会を設けること
6. 女性自身の政治への関心を高めること
7. その他(具体的に： )
8. わからない

## 《人権・暴力についておたずねします》

問 27. 配偶者等からの暴力（身体的、精神的、経済的、性的）は、多くの場合女性が被害者となっています。このような配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、あなたはどう思われますか。※ドメスティック・バイオレンス・・・別紙で用語解説を同封しています。

※各項目ごと横に見てお答えください (○印はそれぞれ1つずつ)	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①ドメスティック・バイオレンスは人権を侵害する行為である	1	2	3	4
②どんな理由があっても暴力はふるうべきではない	1	2	3	4
③暴力をふるわれる方にも問題がある場合もある	1	2	3	4
④暴力をふるう相手とは別れたらいい	1	2	3	4
⑤暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だ	1	2	3	4
⑥夫婦間の暴力であっても、求めに応じて警察や行政の相談機関が積極的に関わるべきである	1	2	3	4

問 28. あなたは、現在または過去に配偶者（結婚していないが一緒に暮らしている場合も含む）がいましたか。（○印は1つ）

- |   |
|---|
| 1. 現在いる<br>2. 過去にいたが現在はいない<br>3. これまでいたことがない ⇒ 11 ページの問30にお進みください |
|---|

問 29. 問 28 で「現在いる」「過去にいたが現在はいない」と答えた方におたずねします。

(1) これまでに、あなたの配偶者（結婚していないが一緒に暮らしている場合も含む）から次の①～③のようなことをされたことがありますか。

※各項目ごと横に見てお答えください (○印はそれぞれ1つずつ)	まったくない	1・2度あった	何度もあった
①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

(2) その相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。（○印は1つ）

- |                |
|----------------|
| 1. ある<br>2. ない |
|----------------|

問 30. あなたの 10 歳代から 20 歳代の経験についてお聞きします。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。あなたは、その当時、交際相手がい了吗。あてはまる番号に○をつけてください。(○は 1 つ)

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 交際相手がい了吗 (いる)    | ⇒ 1 2 ページの間 34 にお進みください |
| 2. 交際相手はいなかった (いない) |                         |

問 31. 問 30 で「交際相手がい了吗 (いる)」と答えた方におたずねします。

(1) あなたは、10 歳代または 20 歳代に、あなたの恋人や元恋人などの交際相手から、次の①～③のようなことをされたことがありますか。

※各項目ごと横に見てお答えください (○印はそれぞれひとつ)	まったく ない	1・2 度あ った	何 度 も あ っ た
①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

(2) その相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。(○印は 1 つ)

- |       |
|-------|
| 1. ある |
| 2. ない |

問 32. 問 29 または問 31 で「1・2 度あった」「何度もあった」と答えた方におたずねします。

あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○印はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 家族に相談した   |
| 2. 友人・知人に相談した  |
| 3. 行政機関 (鹿児島市男女共同参画センター(サンエールかごしま相談室)、鹿児島県男女共同参画センター、鹿児島市女性相談室、鹿児島県女性相談センター、福祉事務所、保健所、法務局など) に相談した |
| 4. 警察に連絡・相談した  |
| 5. 弁護士に相談した  |
| 6. 医師に相談した   |
| 7. 民間のカウンセリングルームに相談した  |
| 8. その他 (具体的に )   |
| 9. どこ (だれ) にも相談しなかった   |

問 33. 問 32 で「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。

どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（○印はいくつでも）

1. どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから
2. 相談する人が近くにいなかったから
3. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
4. 相談してもむだだと思ったから
5. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
6. 相手に「誰にも言うな」とおどされたから
7. 子どもに危害が及ぶと思ったから
8. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから
11. 担当者の言動により不快な思いをすと思ったから
12. 世間体が悪いから
13. 他人を巻き込みたくなかったから
14. 他人に知られると、これまでの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
15. 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
16. そのことについて思い出したくなかったから
17. 相談するほどのことではないと思ったから
18. 家族なのだからがまんするよう言われるのではないかと思ったから
19. 相談することによって自分の望まない結果になるのではと思ったから（離婚・別居など）
20. その他（具体的に )

問 34. 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思えますか。

（○印はいくつでも）

1. 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
2. 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6. 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7. 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 加害者への罰則を強化する
9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を規制する
10. その他（具体的に )
11. 特にない

問 35. テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピューターゲーム等のメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのように思いますか。(〇はいくつでも)

1. 性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく
2. 社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている
3. 性的犯罪を助長する
4. 過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない
5. 男女のイメージを固定化することを助長するような表現をしている
6. その他(具体的に )
7. 特に問題はない
8. わかならい

### 《男女共同参画に関する用語についておたずねします》

問 36. 男女共同参画に関連の深い次の言葉をこれまで知っていましたか。①～⑭それぞれについてお答えください。

※各項目ごと横に見てお答えください (〇印はそれぞれ1つずつ)	知 っ て い る 言 葉 も 内 容 も	知 っ て い る 言 葉 だ け は	知 ら な い 言 葉 も 内 容 も
①男女共同参画社会基本法	1	2	3
②女子差別撤廃条約	1	2	3
③男女雇用機会均等法	1	2	3
④配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)	1	2	3
⑤ドメスティック・バイオレンス	1	2	3
⑥育児・介護休業法	1	2	3
⑦セクシュアル・ハラスメント	1	2	3
⑧ポジティブ・アクション	1	2	3
⑨社会的性別(ジェンダー)	1	2	3
⑩エンパワーメント	1	2	3
⑪リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	1	2	3
⑫ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
⑬鹿児島市男女共同参画計画	1	2	3
⑭男女共同参画都市かごしま宣言	1	2	3

※ 別紙で用語解説を同封しています。

## 《行政についておたずねします》

問 37. 「男女共同参画社会」を形成していくため、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○印はいくつでも)

1. 法律や制度の面での見直しを行なう
2. 女性を政策や方針決定の場に積極的に登用する
3. 女性団体や女性のリーダーを養成する
4. 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行なう
5. 女性の就労の機会を増やしたり、従来女性の就労が少なかった分野などへの女性の進出を促進するための職業教育や訓練を充実する
6. 男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行なう
7. 保育所や児童クラブなどの施設や育児サービス、制度の充実を図る
8. 高齢者や障害者に対する施設・介護支援などの福祉政策を充実する
9. 学校教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
10. 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実する
11. 各国の女性との交流や情報提供など国際交流を推進する
12. 広報誌やパンフレットなどによる啓発や、講演会や講座等を充実する
13. その他(具体的に： )
14. 特にない

問 38. 男女共同参画に対するご意見やお考えを自由にお書きください。

※ 本調査は、ご回答者のプライバシーを尊重する観点から無記名方式でお願いしております。個別の回答が必要な「相談」や「質問」については、鹿児島市男女共同参画推進課へ直接お問い合わせください。

## 《あなたやあなたのご家族についておたずねします》

F 1. あなたの性別はどちらですか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2. あなたの年齢（満年齢）を教えてください。

- |            |            |            |             |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 20～24 歳 | 4. 35～39 歳 | 7. 50～54 歳 | 10. 65～69 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 5. 40～44 歳 | 8. 55～59 歳 | 11. 70 歳以上  |
| 3. 30～34 歳 | 6. 45～49 歳 | 9. 60～64 歳 |             |

F 3. あなたのお仕事についておたずねします。あなたは、この中のどれにあたりますか。

- |   |          |                  |
|---|----------|------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 雇用者（役員を含む） | 3. 家族従業者 | 5. その他の無職（学生を含む） |
| 2. 自営業主（家庭内職者を含む）                                 | 4. 主婦・主夫 |                  |

F 4. F 3で「雇用者（役員を含む）」と答えた方へおたずねします。そのお仕事は常勤（フルタイム）ですか、パートタイムですか。

- |                            |        |
|----------------------------|--------|
| 1. 常勤（フルタイム）               | 3. その他 |
| 2. パートタイム（パート、アルバイト、嘱託その他） |        |

F 5. あなたは結婚していらっしゃいますか。

- |  |       |            |  |
|--|-------|------------|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 結婚している（結婚していないがパートナーと暮らしている場合も含む） |       |            |  |
| 2. 離別  | 3. 死別 | 4. 結婚していない |  |

F 6. F5で「結婚している（結婚していないがパートナーと暮らしている場合も含む）」と答えた方へおたずねします。ご夫婦の職業の有無について、この中のどれにあたりますか。（F3で雇用者（役員を含む）、自営業主（家庭内職者を含む）、家族従業者と答えた方は職業がある場合としてご回答ください。）

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. どちらも職業がある  | 3. 配偶者にのみ職業がある |
| 2. 自分にのみ職業がある | 4. どちらも職業がない   |

F 7. あなたにお子さんはいらっしゃいますか。（○印は1つ）

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

～ ご協力ありがとうございました ～

ご記入もれがないかもう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、

**9月24日(金)** までにご返送くださいますようお願いいたします。